手仕事の詩

題字：田畑喜八

日本伝統工芸士会

第 37 号
平成 28 年 9 月 30 日
発行：日本伝統工芸士会

東京都港区赤坂 8-1-22
〒107-0021
電話：03-5785-1001

第 19 回日本伝統工芸士会作品展作品募集中

前号でご案内いたしましたとおり、日本伝統工芸士会作品展が伝統的工芸品月間催事の一つとして福井県にて開催されます。

今回で第 19 回となる本展は、より魅力的な作品展を目指して内容を充実させており、第 17 回からは衆議院議長賞、経済産業大臣賞が増え、地元 NHK 賞や新聞社等の賞も増えています。

また、入賞作品は東武百貨店にて開催の「日本伝統工芸士会秀作展」で展示することで東京地区の目の肥えたお客様に伝統工芸士の技術・美意識の高さをアピールしています。「秀作展」と連動する形で前回からは東武百貨店審査員の選定による「東武賞」が 3 点追加され、ますます賞が充実しました。更に今回からは入賞者の表彰式を 3 月開催予定の秀作展会場にて実施することを計画しています。

「日本伝統工芸士会秀作展」では、回を重ねるごとに来場者も増え、「伝統工芸士の作品がこんなにすばらしいものだと知らなかった」「もっと見てみたい、購入して使ってみたい」と大きな反響があり、前回は会場の東武百貨店美術画廊が「普段では考えられない数」の来場者で埋まり、会期中の売り上げも増加して、注目が高まっています。

現在作品を募集中です。応募書類は産地組合あてお送りしておりますが、伝産協会　産地支援部までご連絡いただければ、メール添付等でお送りいたします。
メール添付でのデータをご希望の場合は、
shien@kougei.or.jp までメールにてご連絡ください。
お申し込みの締切は 10 月 13 日（木）です。
皆様の力作をお待ちしております。
（写真は前回秀作展の様子）

会場入口に展示された
作品展入賞作品

前回秀作展会場

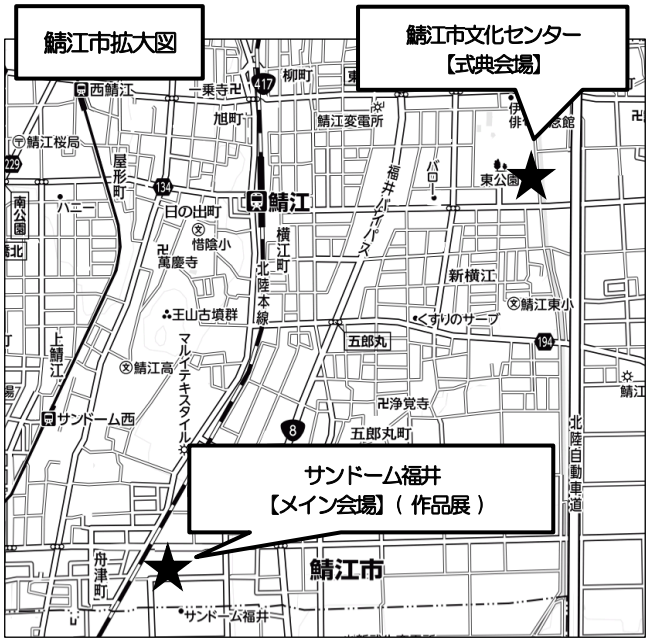
第 35 回全国伝統工芸士大会ご案内

第 35 回を迎えることとなった全国伝統工芸士大会は下記の日程により福井県で開催されます。

全国大会記念式典ならびに伝統工芸士大会の式典は鯖江市、懇親会はあわら温泉の旅館 2 館での開催です。

開催時期は 11 月 24 日（木）が式典・懇親会。日本伝統工芸士会作品展をはじめとする展示会関係催事が 25 日（金）～27 日（日）です。

皆様のご参加をお待ちしております。福井でお会いしましょう！



福井県伝統工芸士会から

福井県伝統工芸士会連合会会長　宗倉克幸（越前焼）

いよいよ全国大会も近づいており、福井県伝統工芸士会連合会では、成功させようと日々話し合いを重ねております。そこで今回は少し福井県伝統工芸士会連合会の産地紹介をさせていただきます。

・越前和紙伝統工芸士は会員 33 名で活動しています。福井大会が「越前和紙」ブランドをより多くの方々に広めるチャンスととらえ、大会の成功に向けて取り組んでいます。

・越前漆器伝統工芸士会は「うるしの里会館の職人工房」にて実演をし、また工芸士会にて植栽したうるしの木の保全管理を行うとともに、河和田で採れた漆を使って工芸士会で作品を作りたいと取り組んでいます。

・越前打刃物伝統工芸士会は、越前打刃物と言えば「ながたん」菜切包丁、鎌などでしたが、需要の後退で同業者が減少しています。しかし伝統ある鍛造技術を生かし、ステンレス包丁等の製品が好調で海外からの受注も増加しています。

・若狭塗伝統工芸士会は現在５名で活動していて、地元小浜では後継者育成事業として地元の小・中学生を対象に体験事業を行っています。

・越前箪笥伝統工芸士会は平成 25 年 12 月に指定を受けたばかりで 6 名の工芸士が在籍。全国大会に向けて微力ながら盛り上げていきたいと考えています。

・越前焼伝統工芸士会は現在 4 名の会員です。今年は認定試験を予定しており、2 名受験することになっています。福井大会では越前焼きをもっともつとアピールしたいと思っています。

今回 6 産地の福井県伝統工芸士会連合会で福井大会を盛り上げて行こうと思っています。是非、全国の工芸士の皆様には足を運んでいただき、楽しんで欲しいと思っています。

伝統工芸ふれあい広場等関連催事

月間催事の大きな柱のひとつ、製作体験を通じて伝統的工芸品の良さ、職人さんの技術のすごさを知っていただく「伝統工芸ふれあい広場」と、来場されたお客様に伝統的工芸品を買って実際に使っていただくための「全国くらしの工芸品展」。今年も日本伝統工芸士会作品展と同じサンドーム福井にて開催いたします。

今年の「ふれあい広場」は全国の指定産地と地元福井の指定外の工芸品を含む 25 品目で開催します。

前回の様子（ふれあい広場）

また、「全国くらしの工芸展」は全国の指定産地から 37 工芸品が参加。「毎日使える」伝統的工芸品を販売します。

こちらもぜひお見逃しなく。

「伝統工芸ふれあい広場」実施内容（予定）

業種	工芸品	県名	体験内容
織物	塩沢紬	新潟	機織り
	石田縞（指定外品）	福井	機織り
染色品	東京染小紋	東京	ﾃｰﾌﾞﾙｾﾝﾀｰ 染色
	京友禅	京都	ハンカチ彩色
陶磁器	越前焼	福井	ロクロ成形
	信楽焼	滋賀	てひねり成形
	波佐見焼	長崎	下絵付け
漆器	越前漆器	福井	沈金
	若狭塗	福井	箸研ぎ出し
	紀州漆器	和歌山	蒔絵
	大内塗	山口	絵付け
木竹品	樺細工	秋田	アクセサリ-作り
	奥会津編み組細工	福島	ストラップ作り
	井波彫刻	富山	彫刻
	越前箪笥	福井	鉋削り
金工品	東京銀器	東京	指輪作り
	越前打刃物	福井	ペンダント作り
	肥後象がん	熊本	ペンダント作り
和紙文具	越前和紙	福井	墨流し
	奈良筆	奈良	毛筆仕上げ
人形	博多人形	福岡	人形彩色
諸工芸	甲州手彫印章	山梨	篆刻
	京表具	京都	ミニ屏風作り
	山鹿灯籠	熊本	ミニ金灯籠作り
材料	金沢箔	石川	金箔貼り

※体験の品目・内容等は変更になる場合があります。

前回の様子

「熊本地震」お見舞金について

本年4月14日以降に熊本・大分県で発生しました大地震により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。日本伝統工芸士会より各産地伝統工芸士会の皆様にお見舞金を呼びかけたところ、8月末日までに別表の46産地伝統工芸士会より総額110万円をお寄せいただきました。ご協力下さいました皆様に深く感謝の意を表し、ご報告申し上げます。

お預かりしましたお見舞金は、小代焼と肥後象がんの伝統工芸士会にそれぞれ55万円をお贈りしております。

被災されました皆様の一日も早い復旧・復興をお祈りしております。

お見舞金をお寄せいただいた産地伝統工芸士会

織染	秩父銘仙／多摩織／　村山大島紬／本塩沢／塩沢紬／信州紬／西陣織／博多織／首里織／読谷山花織／名古屋友禅／名古屋黒紋付染／京友禅／京小紋／京繻／京くみひも
陶磁器	笠間焼／九谷焼／赤津焼／瀬戸染付焼／信楽焼／京焼・清水焼／三川内焼／波佐見焼
漆器	川連漆器／奥会津編み組細工／井波彫刻
木竹品	岩谷堂箪笥／江戸指物／高山茶筌
金工品	越後三条打刃物／高岡銅器／越前打刃物
仏壇・仏具	飯山仏壇／名古屋仏壇／三河仏壇／七尾仏壇／京仏壇／京仏具／大阪仏壇／広島仏壇／川辺仏壇
和紙・文具	豊橋筆／奈良筆／播州そろばん
石工品	真壁石燈籠
諸工芸品	天童将棋駒／江戸切子／京表具
材料・用具	金沢箔／伊勢形紙
地域工芸士会	鳥取県伝統工芸士会／岐阜県伝統工芸士会連合会

熊本の産地伝統工芸士会より

上記のお見舞金をお贈りしたところ、産地伝統工芸士会よりメッセージが届いておりますので、ご紹介いたします。

≪小代焼伝統工芸士会≫

御礼

この度、未曽有の熊本地震により、九州・特に熊本を中心に甚大な被害を受け、製造・販売・観光・諸々のイベントまで一瞬にして滞留してしまいました。

このようなとき全国伝統工芸士会の方々の温かいご支援・お見舞金を頂戴しまして、感謝にたえません。

5か月を過ぎた今日も余震が続く中、「がんばる熊本」を合言葉に窯元一同、皆様のお力を糧に頑張っております。

感謝

小代焼伝統工芸士会　会長　井上泰秋

≪肥後象がん伝統工芸士会≫

日本伝統工芸士会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当地を襲った熊本地震に際しましては、多額のお見舞金を頂き、心よりお礼申し上げます。

この度の地震では全域で激しい揺れに見舞われましたが、幸いにも当伝統工芸士会の者は大きな被害から免れました。

今では気持ちを切り替え、従前のとおりとはいかない部分もありますが、震災前に近い製作活動に戻すよう努力しております。今回のご援助で工芸士会の活性化を図るため、後継者育成・活動費に活用させていただきたいと思います。

まずはご報告かたがたお見舞のお礼を申し上げます。

肥後象がん伝統工芸士会　会長　坊田　透

各地区の伝統工芸士会から

全国各地の伝統工芸士会の活動をお知らせします。お地元の活動のご参考になさってください。今回は3件をご紹介します。

関東地区（新潟県伝統工芸士会）

『新潟県伝統工芸士会の活動』

県下9工芸産地の伝統工芸士の集まりである「新潟県伝統工芸士会」では各指定産地持ち回りで2年に1回「新潟県伝統工芸士大会」を開催しております。中央会、行政関係者のご出席を戴き、講演会、指定産地の視察研修、各産地の課題等の情報交換を行って会員相互の連携を図っております。

また、年1回、県及び関係市町村のご支援のもとで「新潟県伝統的工芸品展」を開催しております。各産地の工芸士が結集し、「実演コーナー」を設置し、匠の技を紹介、PRに努めております。技の凄さ、楽しさ、美しさに触れていただく、「ものづくり参加体験コーナー」を設け、毎年、多くの来場者に興味を持っていただいて賑わっております。

これからも、県内の伝統的工芸品産業の振興、技術向上、相互親睦に努めていきたいと考えております。

新潟県伝統工芸士会　会長　伊東貞夫（長岡仏壇）

関東地区（江戸切子伝統工芸士会）

『他業種とのコラボレーション』

昨年の夏、あるアニメ番組で江戸切子が取り上げられたことがきっかけで、放映から僅か2日でアニメ関連会社より連絡が入りました。「アニメ」という思いもよらぬ業種とのコラボにまず面食らったというのが正直な感想です。「鉄は熱いうちに打て」と申しますが、まさに反響が出た瞬間に業務の新展開を図るという姿勢と行動力には考えさせられるところがありました。アニメとのコラボに迷いがなかったと言えば嘘になります。但し、伝統工芸士「江戸切子」の名に恥じぬ仕事をすれば周囲の理解は得られると信じご依頼を受諾することに至りました。昨年8月から今年2月に至る、決して短期決戦とは言えない取り組みになりましたが、このコラボは若年層に江戸切子を知っていただく機会を生み出しました。タッグを組む相手の選別は不可欠でしたが、チャンスロスを犯さず「今」を見極める重大さを学ぶところとなったのは事実です。

江戸切子伝統工芸士会　会長　林　克美

四国地区

『四国の今』

昨今の北陸新幹線開通、次に北海道新幹線開通。なのに四国は今でもＪＲで一周できない有様。非常に交通アクセスが悪い、自動車道のみで踏ん張っている状況である。それでも四県各地で様々なイベントを行って懸命に成果を上げようとしている。だが、一生使える工芸品は、次第に購買数を下げて売り上げが落ちていく。6月に松山の百貨店で開催した伝統的工芸品の催事でも昨年に比べ来客数は激減、閑古鳥が鳴いている状況であった。従って販売額は赤字となり、惨憺たる結果であった。

今まで培ってきた技と感覚、そこから私たち伝統工芸士が自信を持って作り出す作品は、使ってこそ人の心を、生活を潤すものなのであるが、現代人の心が渇き過ぎているのか人々に届いていない。

それでも工芸品好きの人は居る。でも工芸品の良さ、奥深さを知らない人が多すぎる。その人達をどのようにこちらに向かわせていくのか、その導きは個々の産地だけでなく、全国の産地の共同力で成せてゆけるのではないかと思う。

香川漆器伝統工芸士会　会長　有岡良員

伝統工芸士会青年委員のご紹介

本年より若手の伝統工芸士を対象に「青年委員会」を設置しました。

これからの伝統的工芸品産業ならびに伝統工芸士会を支えていただくことになる若手伝統工芸士をご紹介します。

第１回は東京手描友禅の小倉　悟さんです。

現代では人々の生活様式や価値観、さらに日本を取りまく環境も変化してきており、そのスピードも速くなってきていると感じています。今後そのような状況の中で伝統工芸を続けていくには、本業である物づくりをしっかりすることはもちろんですが、視野を広げいろいろなことに目を向けていくことも大切ではないかと考えています。

伝統工芸士会では、たくさんの業種の方とお会いできる機会がございます。そのようなときに、物づくりへの思いや新しくチャレンジされていることなどの（できれば前向きな）お話をお聞かせいただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします

東京手描友禅伝統工芸士　小倉　悟

伝産協会ニュース

平成 28 年伝統工芸士研修会

昨年皆様のご自宅にお知らせをお送りしましたとおり、伝統工芸士認定事業実施要領が変更になり、５年ごとの研修会受講は伝統工芸士の義務になりました。

また、今年度より研修会を受講された方には最新更新年が記載された登録証を発行いたします。これにより、本年度以降に研修会を受講された方は登録証で最新の受講年が確認できることとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

伝産協会ニュース

平成 28 年度全国伝統的工芸品公募展 作品募集中

青山スクエアで毎年 12 月に開催している「全国伝統的工芸品公募展」では作品を募集中です。

内閣総理大臣賞・経済産業大臣賞ほかの賞が用意されている本展ですが、今回から内容の一部を見直しています。大きく変更になった点は以下の点です。

①応募は伝統的工芸品の製作を生業にされている方に限定されました。

②展示会は入賞・入選された作品のみの展示となります。

③今回のキーワードは「くらしを潤すアイデアとワザ」です。募集意図に合わない作品は審査の対象から外させていただく場合があります。

申込み締切は 12 月 1 日です。詳細はご案内を産地組合宛てお送りしておりますのでお問合せいただくか、伝産協会企画部までお問合せください。

なお、当協会ホームページからも募集要項等をご覧いただけます。

http://kougeihin.jp/web_info/20160708_kobo/

平成 27 年度　内閣総理大臣賞

津軽塗「盛器」白川明美

伝産協会ニュース

DENSAN ACADEMY 2016 の開講について

伝産協会では、伝統的工芸品産地の将来を担うつくり手に必要な知識を取得して頂くための講座「DENSAN ACADEMY 2016」を 10 月より東北会場(仙台市)と近畿会場(大阪市)の 2 か所で開講いたします。

伝統的工芸品産業の将来には、「つくり手」は、ものづくりの技術を磨くだけでなく、自らが販路開拓、商品開発、マネジメントなどの知識も必要です。これらの知識を若手をはじめとする産地従事者が取得し、産地を支える担い手の育成を目指す事業です。

本講座の受講生が将来の産地リーダーとなることを期待しています。